



知って、連携！ 日本スポーツ少年団／リーダー制度

地域住民が主体的に参画し、生涯スポーツの発展を目指す『総合型地域スポーツクラブ』（以下：クラブ）と、スポーツを通じた青少年の健全育成および地域づくりへの貢献を理念とする『スポーツ少年団』。

『地域』というキーワードを持つ両者が『地域』のために連携・協働するには、まずはお互いを知ることが第一歩ではないでしょうか。

お互いの活動や取り組みを知ること、クラブの活動に生かせるヒントや地域のスポーツ少年団との連携につながるキッカケが見つかるかもしれません。

今回は、スポーツ少年団の人材育成・確保に関わるリーダー制度をご紹介します。

1 | はじめに

日本スポーツ少年団は、「日本スポーツ少年団リーダー制度」において、ジュニア・リーダーとシニア・リーダーを規定しています。

ジュニア・リーダーは、単位スポーツ少年団において団員の模範となって活動する団員、シニア・リーダーは、単位スポーツ少年団およびリーダー会において模範となって活動する団員を指します。

※詳細は[コチラ](#)から



2 | スポーツ少年団リーダー制度

○ジュニア・リーダー

[資格取得者]：96,803人(昭和43年から平成26年までの46年間)

[対 象]：日本スポーツ少年団登録団員で、小学5年生～中学生までの者

[活 動]：単位スポーツ少年団において団員の模範となって活動する

[資格取得方法]：都道府県スポーツ少年団が開催するジュニア・リーダースクールを修了する

[認定の期間]：認定を受けた者が引き続き登録を行っている限り有効

ジュニア・リーダースクール日程表(例)

	1日目	2日目	3日目
6:00		起床・洗面	起床・洗面
7:00		朝の集い・掃除	朝の集い・掃除
8:00		朝食(7:45～8:15)	朝食(7:45～8:15)
9:00		実践(8)「さあ、みんなで考えよう」	講義(2)「スポーツをもっと知ろうよ」 ～スポーツ少年団とは スポーツ少年団のリーダーとは～
10:00		実践(7)「見てみよう仲間の活動」	まとめレポート記入 (10:00スタッフミーティング)
11:00		実践(4)「知ろう、自分の体力」 ～運動適性テスト～(11:00～11:30)	閉校式 昼食(昼食後解散)
12:00	(12:30 スタッフミーティング)	昼食・休憩(12:30～13:00)	
13:00			
	受付		
14:00	開校式・オリエンテーション 講義(1)「ジュニア・リーダースクール」	実践(5)「自然の中でスポーツしよう」	
15:00			
16:00	実践(1)「グループワークトレーニング」 班別ミーティング(自己紹介・係決定)	実践(3)「アイデア生かして新聞作り」	
17:00			
	夕食(17:50～18:20)	夕食(17:50～18:20)	
18:00	実践(2)「楽しく学ぼう、レクリエーション」	班別ミーティング 「話し合おう今後の私たち」	
19:00			
20:00	係別ミーティング 入浴・自由時間(20:30～21:30)	係別ミーティング 入浴・自由時間(20:30～21:30)	
21:00	(21:00 スタッフミーティング)	(21:00 スタッフミーティング)	
22:00	消灯・就寝	消灯・就寝	

集団行動や自発的な
プログラムが多いで
すね。まさにリーダー
養成学校です！



○シニア・リーダー

[資格取得者]: 8,506人(昭和43年から平成26年までの46年間)

[対象]: 日本スポーツ少年団登録団員で義務教育を修了した20歳未満の者

※詳細は[コチラ](#)から

[活動]: 単位スポーツ少年団および都道府県リーダー会において模範となって活動する

[資格取得方法]: 日本スポーツ少年団が開催するシニア・リーダースクールの全課程を修了する

[認定の期間]: 認定を受けた者が引き続き登録を行っている限り有効

シニア・リーダースクール日程表(例)

6:00	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6:00
		起床・清掃(宿泊施設)	起床・清掃(宿泊施設)	起床・清掃(宿泊施設)	起床・清掃(宿泊施設)	
		清掃(研修施設)(20分) 係別MTG(10分)	清掃(研修施設)(20分) 係別MTG(10分)	清掃(研修施設)(20分) 係別MTG(10分)	清掃(研修施設)(20分) 係別MTG(10分)	
7:00		朝のつどい	朝のつどい	朝のつどい	朝のつどい	
		朝食 7:20~8:30	朝食 7:20~8:30	朝食 7:20~8:30	朝食 7:20~8:30	7:30
8:00		講義④「活動時の安全管理」	講義⑦「国際交流」(30分)	スポーツ指導実践③	退出点検(8:45~)	8:30
9:00		テキスト編・実践編(各40分)	班別活動②	「スポーツ指導実践」		9:30
		休憩10分	「テーマディスカッション」		班別活動④	
10:00		講義⑤「活動プログラムの計画」			「班別活動の総括」	
		テキスト編・実践編(各40分)				
11:00	受付	休憩10分	スポーツ指導実践②		全体会	11:15
	施設オリエンテーション	講義⑥「運動適性テスト」(60分)	「指導案作成②」		閉校式	11:45
12:00	昼食(11:30~12:20)		「指導実践リハーサル」			12:30
	開校式・オリエンテーション(12:20~)	昼食(12:30~13:30)	昼食(12:30~13:30)	昼食(13:00~14:30)		
13:00	講義①「スポーツ少年団の理念とスポーツリーダー」 「団の組織とリーダー・指導者の役割」(30分)					
14:00	講義②「少年期の発育発達」 「生理編・心理編」(各40分)	スポーツ指導実践① 「指導案作成①」	スポーツ指導実践② 「指導案作成②」			
	休憩10分	班別活動①	「指導実践リハーサル」	スポーツ指導実践④		
15:00	講義③「グループワークトレーニング」(30分)	「テーマディスカッション」		「スポーツ指導実践の振り返り・評価」		
16:00	実習① 「グループワークトレーニング」 「個人目標の設定」	「面接」				
17:00	係別活動 「役割・業務確認」	実習② 「班別対抗スポーツ活動①」	実習③ 「運動適性テスト」	班別活動③ 「テーマディスカッション」		
18:00			「班別対抗スポーツ活動②」			
19:00	夕食(ブロック別) 18:45~19:30(2分割)	夕食 18:30~19:30	夕食 18:30~19:30	夕食 18:30~19:30		
20:00		自主活動、「面接」	入浴 19:30~20:30	自主活動(レクリエーション) 19:30~		
21:00	入浴 20:00~21:00		自主活動	入浴 21:00~22:00		
22:00	自主活動、「面接」	入浴 21:30~22:30	就寝準備	就寝準備		
23:00	就寝準備	就寝準備				
	消灯	消灯	消灯	消灯		

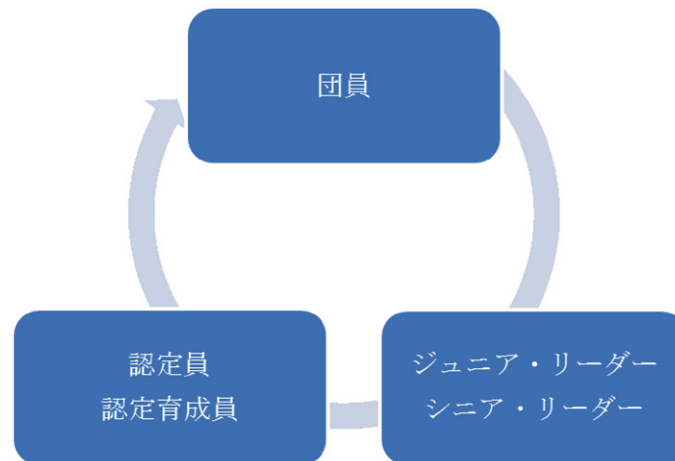
5日間のスクーリングでは、ジュニア・リーダースクールに比べ、指導実践のプログラムが多く盛り込まれていますね

3 | 人材育成・確保を目指して

ジュニア・リーダーおよびシニア・リーダーの役割は、団員の模範やまとめ役、指導者の補助役にとどまりません。登録団員の約9割が小学生であるスポーツ少年団では、小学校の卒業を契機にスポーツ少年団活動をやめてしまう団員が多いのが現状です。ジュニア・リーダーおよびシニア・リーダースクールへの参加を通じ、指導することの楽しさや素晴らしさを経験することで、地域のスポーツ少年団で指導を担う指導者が育っていき、ひいては人材の育成や確保につながるサイクルを目指しています。

総合型クラブが、スポーツ少年団にも登録・所属する中学生や高校生に対して、ジュニア・リーダーやシニア・リーダーの資格取得を促すことは、『次世代』のクラブ運営におけるリーダーや指導者の育成にもつながります。

スポーツ少年団における人材育成サイクル



※スポーツ少年団認定員・認定育成員については[コチラ](#)から！

4 | 総合型クラブに置き換えると…？

それでは、スポーツ少年団の人材育成・確保のモデルをクラブに置き換えるとどのようなのでしょうか。スポーツ少年団と同様に、まずはクラブの活動を通して魅力を伝えること、そして将来的にクラブの運営や指導に携わるための知識・技術習得の場の提供やクラブ間の若手世代のネットワーク構築など、クラブ運営への興味・関心を引くことが必要です。

5 | まとめ

スポーツ少年団では、小学5年生以上の団員を対象に、資格取得のための養成講習（スクーリング）を通じ、次世代の指導者養成（人材育成・確保）を目指していますが、この仕組みはクラブにとっての人材育成・確保にも生かすことができます。

ジュニア・リーダースクールやシニア・リーダースクールでは、スポーツ少年団に特化した内容のみならず、指導者として必要な資質・知識について学ぶことができるため、次世代のクラブ運営を支える人材育成にそのまま活用することができます。

そのため、クラブに所属する小学生～高校生にスポーツ少年団への登録を促し、ジュニア・リーダー、シニア・リーダースクールに参加する環境を整えることは、総合型クラブにとって大変有益となるでしょう。

また、クラブにおける人材育成・確保には、魅力あるクラブ、やりがいを感じる役割を提供することが重要です。※これらを踏まえ、ぜひクラブの皆さんで将来的な人材育成・確保について考えてみてください。

※【メルマガ109号：連載「クラブ運営に関わる人材の確保・育成」を振り返る】⇒ 詳細は[コチラ](#)から

【参考資料】

- メルマガ80号特集 スポーツ少年団の理念とクラブの共存 [コチラ](#)をクリック！
- 総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013 P.31..... [コチラ](#)をクリック！
- 日本スポーツ少年団関連資料 [コチラ](#)をクリック！

クラブでも活用できます！

- 「みんなで遊んで元気アップ！ アクティブ・チャイルド・プログラム」 [コチラ](#)をクリック！
- 「アクティブ・チャイルド・プログラム、子どもの心と体を育む楽しい遊び」 [コチラ](#)をクリック！